

地方創生推進交付金事業について（令和2年度実績及び効果検証）

◇ 事業名

製造業の強化による産業の重層化と「IoTのまち」創造事業（令和2年度～4年度）

◇ 事業目的

地域経済の活性化並びに雇用及び就業機会の創出を図ることを目的として、令和2年1月に立地協定を締結した株式会社長島製作所を「地域経済牽引事業者」として先端設備への投資を支援し、製造業の強化を図るとともに、町との連携によりプログラミング人材を養成し、地元就職や町内での起業を促進する。

[令和2年度の事業実績]

全体事業費 135,396,000 円

交付金額 67,698,000 円

1. 地域経済牽引事業補助金（事業費：135,000,000 円）

地域経済牽引事業者が行う技術力強化や省人化等による生産性の向上に向けた機械・設備等の導入及び長島製作所平泉工場内への人材育成拠点の建設に要する経費に対する助成を行い、長島製作所平泉工場の一部を町との連携によって実施する「プログラミング人材育成」の拠点として整備した。

2. 次世代技術者養成事業（事業費：396,000 円）

次世代の技術者を養成するため、小中学生を対象としたプログラミングの基礎を学ぶ講座を開催した。

【委託事業者】

アクセルゲート合同会社（八幡平市） ※令和2年12月2日契約締結

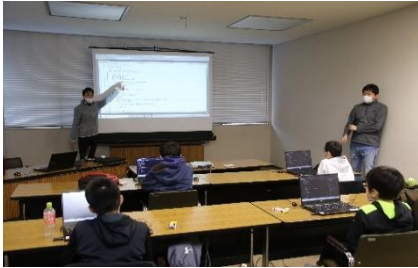
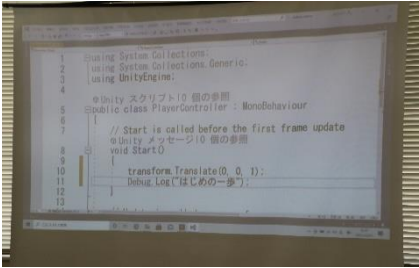


【事業実績】

(1) 小学生向け教室

対象者	町内在住または町内小学校に通学する小学4年生から6年生
開催回数	1教室を1回（2時間）開催
会場	平泉町役場 201会議室
参加者数	11名（4年生4名、5年生7名）
内容	iPadとアプリ制御ロボットを使用したプログラミング体験。 iPadの専用アプリであらかじめ命令がパターン化されたブロックを組み合わせて、ボール型ロボットの操作を行った。



(2) 中学生向け教室

対 象 者	町内在住または平泉中学校に通学する中学1年生から3年生
開 催 回 数	1教室を5回コース（1回あたり4時間）で開催
会 場	平泉町役場 委員会室2
参加者数	4名（すべて1年生）
内 容	ゲーム開発エンジン「Unity」とプログラミング言語「C#（シーシャープ）」を使用したゲーム開発プログラミング。 実際の現場で使用されているプログラミング言語と開発エンジンを使用してプログラミングの基礎とそれを応用したオリジナルのミニゲームの開発を行った。
当日の様子	   

◇ 本事業による評価指標

基準日 評価指標名	事業開始前 (当初)	令和3年3月末 (事業開始前から累計)	令和5年3月末 (最終年目標、累計)
地域経済牽引事業者 (長島製作所) の フタバ平泉との取引額	332,000 千円	392,000 千円	750,000 千円
地域経済牽引事業者の 雇用者数	141 名	152 名	149 名
プログラミング講座受 講者の 起業相談件数	—	—	7 名
プログラミング講座受 講者数	—	14 名	135 名

[本事業の効果検証]

事業の効果※1	② 地方創生に相当程度効果があった
外部有識者からの 評価・意見※2	① 地方版総合戦略の KPI 達成に有効であった 官民連携による人材育成の取組は地域内外の若者を広く呼び込め、その拠点整備は人材の定着には欠かすことのできない町内への仕事や雇用の創出にもつながる。今後は、講座の開催に留まらず、地域へと波及させる取組や人材が定着する仕組みづくりに期待する。
今後の方針	事業の継続 本年度事業において整備した人材育成拠点を活用し、次世代技術者を養成するプログラミング講座（一般向け、小中学生向け）を開催するとともに、人材の定着に向けた活動拠点を整備する。

【※1 事業効果：選択肢】

- ① 地方創生に非常に効果的であった
(例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合)
- ② 地方創生に相当程度効果があった
(例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)
- ③ 地方創生に効果があった
(例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合)
- ④ 地方創生に効果がなかった
(例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)

【※2 事業評価：選択肢】

- ① 地方版総合戦略の KPI 達成に有効であった
- ② 地方版総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない